2006年（平成18年）7月15日発行

第125号

きしわだ 議会だより

発行 岸和田市議会
編集「議会だより」編集委員会
TEL423−9667（直通）

差し迫る行政課題に一般質問（6月定例会）

議長に稲田悦治議員、副議長に中井良介議員を選出（臨時会）

5月臨時会

第1回臨時会では、議長、副議長の選挙を行い、議長に**稲田悦治**議員、副議長に**中井良介**議員を選出しました。

また、議会の役職構成も決定しました。（2面下段に詳細を掲載）

6月定例会

第2回定例会は、6月16日に開会し、監査結果の報告や土地開発公社、㈱テレビ岸和田などの経営状況の報告を受けました。

続いて、市長提出の議案を議題とし、市長から提案理由の説明の後、それぞれ関係する常任委員会にその審査を付託しました。

19日～21日に開かれた各常任委員会では、付託議案の審査や事務概要の報告を受けました。総務常任委員会に付託された議案第92号については、公聴会を開く必要があるため、委員会で継続審査と決定しました。

22日には、委員会で審査した議案（議案第92号を除く）について、各委員長から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。

続いて、議員から「脳脊髄液減少症の研究・治療等の推進を求める意見書」、「国民年金保険料免除の不適切な処理に対する意見書」を提案し、可決しました。

その後の一般質問では、6人の議員が市政各般について見解をただしました。

最後に、各常任委員会と議会運営委員会の特定事件については、閉会中の継続審査・調査と決定し、23日閉会しました。

5月16日から2日間開催した第1回臨時会では、議長・副議長の選挙や常任委員・議会運営委員の選挙などを行いました。

第2回定例会は、6月16日に開会し、市長から提案された25件の議案のうち、24件を原案のとおり可決し、1件は継続審査となりました。

議員からは、意見書2件を提案し、可決しました。一般質問では、6人の議員が市政各般にわたり見解をただし、23日に閉会しました。

暑中見舞状や寄附の禁止

公職選挙法により、議員による暑中見舞状や祭礼など各種行事への寄附が禁止されていますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

「畑町四丁目」住居表示議案で公聴会

～議案第92号「町の区域の変更及び町の新設について」～

第2回定例会で「畑町四丁目」を新設するという議案が提出されました。

本区域には、畑町、極楽寺町、流木町、行遇町、神須屋町及び八田町が混在しているため、「畑町四丁目」を新設し、町の線引きを見直すものです。

この議案には、住民からの変更請求書が添付されています。この場合、住居表示に関する法律で、公聴会を開催し、住民の方のご意見を聴いたうえで議案の可否を決める必要があると規定されています。

賛否のご意見を

公聴会で、公述人として意見を述べたい方はお申し出ください。

申出資格 住居表示実施案に係る畑町、極楽寺町、流木町、行遇町、神須屋町、八田町の区域内に住所（事業所所在地）を有し、「畑町四丁目」の新設にご意見のある方

日時 8月24日（木）午前10時から

場所 岸和田市役所4階第1委員会室

申出公述人数 賛成、反対のいずれも3人以内

発言時間 公述人1人当たり20分以内

公述人の決定 総務常任委員会で決定、公述人に通知します。

傍聴 市議会委員会傍聴規則により傍聴できます。

申出・問合先 7月31日午後5時15分までに住所（事業所所在地）氏名（事業所名）職業、生年月日、電話番号、案件に対する賛否とその理由を記した文書を、持参または郵送で岸和田市議会事務局（〒596-8510 岸城町7番1号 TEL 423・9668）へ

畑町四丁目

本市の高い出生率 豊かなまちづくりのヒントに！

議論白熱 6人の議員が一般質問（裏面も）

【問】本市の出生率は、全国的にみても非常に高くなっている。このことは、今後の豊かな街づくりのための大きなヒントがあるように感じる。現状と理由についてどのように考えるか。

【答】本市の合計特殊出生率は、平成14年度の保健所のデータによると、大阪府全体の1・30に対し、1・51と、0・21ポイント高い数値となっている。

理由としては、まず市民の市内就業率が高いことが考えられる。平成12年国勢調査結果によると、大阪市と堺市を除く府内31市と比べ、女性の市内就業率が高くなっていること。次に女性の就業率が府内31市に比べ低いこと。さらに女性の未婚率が低いこと。また推察ではあるが、核家族化が他市同様進行しているものの、父母世帯などが比較的、近隣に居住していることなど地元の住民や商店街を中心とした商工業者、TMO（民間のまちづくり組織）及び行政が、連携しながら中心市街地の各種活性化策を推進してきた。

現在、国の政省令などの準備段階であり、詳細が明らかになるまでは、活性化推進協議会の中心となると思われるTMOなどの関係者と、これまでの取り組みの見直しや、今後に向けた話し合いの場を作り、本市の方向性を検討したいが考えられる。

こうしたさまざまな要因が相互に関連するとともに、本市では充実した保育制度をはじめとした種々の行政施策があり、加えて地域のコミュニティがしっかりと形成されているためではないかと思われる。

元気に生まれてきてね

保健センターのパパママ教室でもく浴実習

コンパクトシティ実現で 中心市街地の活性化を

【問】中心市街地の空洞化に歯止めをかけることを目的として、中心市街地活性化法などが改正された。

本市でも、早期に法に基づく中心市街地活性化推進協議会を立ち上げ、国の認定をめざし進むべきと考えるがどうか。

【答】市街地の郊外への拡散を抑制し、住も含めたさまざまな都市機能をまちの中心部に集積させるコンパクトシティの考え方に基づき、都市計画法及び中心市街地活性化法の改正が行われた。

本市では、岸和田駅周辺地区、城周辺地区及び旧港再開発地区を含む約148haを中心市街地区域とし、

協議会の立ち上げで にぎわいのあるまちづくりを